

トルコの新型コロナウイルス感染症の状況

トルコでは3/11に初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が報告され、3/18に初めて死者を出し、以降、4/6現在で、81 全県から感染者が出ており 30,217 人（検査数：202,845）が感染、死者は 649 人と、他国と比較しても感染が急拡大している。感染者の 6 割はイスタンブルで、イズミル、アンタルヤ、アンカラ、コジャエリ、アダナ等、海外との往来が多い地域が続く。政府は感染と医療崩壊を防ぐために国民に対し予防と国民団結、在宅要請等の呼びかけを行いながら、トップダウンで比較的迅速に対応しており、検査数、快復者数には改善がみられるが、感染者増は抑えられていない。トルコ政府による主な対応等は下記の通り。

（*政府発表やトルコメディアの報道等を参照）

1. 2020年1～2月

1/10、専門家による Coronavirus Scientific Advisory Board を組織。1/24、各空港にサーモカメラを設置し、中国からの渡航者を中心にスクリーニング、及び、税関に赤外線体温計、消毒液を設置、希望者にマスク配布開始。1/31、武漢滞在中の国民の帰国便派遣。2/1、中国からのフライトを停止。2/23、イラン国境クムを封鎖。イラン＝トルコ間のフライトを停止。2/29、イタリア、韓国、イラクのフライトを停止。イラクとの陸の国境封鎖。イラクとイランの国境近くに簡易病院を設置。

3. 2020年3月以降

【経済】

3/18、雇用と産業を守ることを最優先とすることを前提に、1000 億リラ（1 兆 6000 億円）の経済政策を発表。国内線航空運賃の VAT を 18% から 1% に、小売業者等に対する社会保障費や税の納付期限延長、年金増額、銀行への債務返済の 3 か月間延期、輸出業者への資金支援、銀行に対する貸し渋り禁止等。その効果や実効性に対する批判はある。3/22、官公庁でフレックスやリモートワークを導入。

【海外との往来の制限】（中国、イタリア、イラン、イラク、韓国便は 2 月に運航停止）

3/12 カルン大統領補佐官が海外渡航の中止を呼びかけ

3/14 5 各国に加え独、スペイン、仏、オーストリア、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、ベルギー、オランダへのフライトを 4/17 迄停止。アゼルバイジャン、ジョージアとは空路及び陸の国境閉鎖。

3/16 英、アイルランド、UAE、スイス、エジプト、サウジとのフライト停止、メッカ巡礼帰国者隔離。

3/17 欧州滞在者の帰国希望者約 3614 人向けに 34 便派遣。帰国者は学生寮で 14 日間隔離。

3/21 アジア、アフリカ、中南米諸国等 46 カ国（全 68 カ国）を航空便運航停止対象国に。

3/23 在外公館の査証発給業務を停止。

3/27 TK は全国際線を運休（貨物以外）。

【国内の移動】

3/22 65 歳以上の高齢者及び慢性疾患者の外出禁止。

3/23 市内の公共交通機関は定員の 50% での運行に制限。

3/27 国内線フライトを主要都市間に限定。長距離バスは条件付運行。都市間の移動は許可取得義務。

3/28 イスタンブルのマルマライ、アンカラの首都鉄道を除き新幹線、高速列車等の鉄道が運休。

3/30 主要都市でのタクシーの運行制限。

4/3 国内線フライトを 4/20 まで運休

4/6 イスタンブル市内の地下鉄は 21 時まで運行。一部の市内交通停止。

【人々の行動に対する制限】

3/19 宗務庁は集団礼拝の禁止に加え、モスクの金曜礼拝中止の通告 muftis を発出。

3/21 軍の式典の延期。床屋、美容院の営業停止。公園、バーベキュー場等でのバーベキューを禁止。

3/27 ピクニック場、森、遺跡（観光地）の週末の閉鎖。週末のピクニック、釣り、屋外の運動（町中でのランニングやウォーキング含む）を当面の間禁止。自治体ごとに平日も適用するか決定。

4/3 30 の大都市とゾルンダルクの往来禁止。医療のサポート、葬儀、軍等の移動は条件付きで許可。20 歳以下の外出禁止。公の場でのマスク着用義務化。

【文化、スポーツ関連】

3/16 3/30 まで全国の図書館閉鎖を発表。

3/17 公の休憩所や娯楽施設（劇場、映画館、展示場、コンサートホール、ジム）を閉鎖。

3/20 4月末まで学術、文化、芸術の集会や催し等を禁止。競馬の無期停止。

3/22 スポーツ試合は4月末まで無観客試合、文化観光省主催の芸術関係のイベントは4月末まで延期。

【経済活動等に対する制限】

3/17 婚約・結婚式場、音楽付食堂・カフェ、カジノ、ビヤホール、コーヒー屋、喫茶店、カフェテリア、飲食付エンターテイメント場、野外宴会場、水たばこ店、水たばこ喫茶、インターネットサロン、インターネットカフェ、ゲームセンター、子供用室内遊戯場（AVM やロカクタ内設備含む）、喫茶店、団体の活動（特例を除く）、遊園地、プール、ハマム、サウナ、温泉、マッサージサロン、スパ、ジムの営業を停止。

3/20 ショッピングモールの短縮営業開始。

3/21 理髪店、美容院、エステサロンの営業停止。

3/22 飲食店の営業をテイクアウトとデリバリーに限定。

3/24 スーパーの営業を9～21時に短縮。来客は1m間隔をとる。面積当たりの人数入場制限。

【教育】

・小、中、高は3/16より1週間休校。3/23、国営放送TRT局で遠隔授業を開始。テレビ、ネット環境に不備がある家庭に対しては補助。3GBまで無償。3/26、4月末までの休校措置を発表。

・大学は3/12より休講。学生寮の入寮者は退出（寮の隔離施設転用のため）。各大学はon-line授業に切り替え。3/26、高等教育委員会が大学の春学期授業は遠隔実施を発表。

【日本関連】

・3/18、日本はトルコを含む全世界に対し感染症危険情報1を発出。

・3/21、在トルコ日本大使館は短期渡航者、帰国予定者に対し、トルコ航空の減便が見られることから、早期帰国の検討についての通達を発出。

・3/24、宮島大使がコジャ保健相と面談。3/25 成田便最終便運航。

・3/31、トルコを含み感染症危険情報レベルを3（渡航をやめてください）に引き上げ。

・4/3、午前0時（日本時間）より入国拒否対象地域に追加。（14日間の待機、公共交通機関不使用陽性、PCR検査の実施対象。トルコから入国する外国人は特段の理由がない限り入国拒否）

・日系企業は工場の生産を停止する等、影響が出ている。

【その他】

・3/1より感染予防のため、公共の場、交通機関、手指用消毒薬設置を開始。

・3/19、保健相が医療従事者に対する謝意を示すため、毎晩21時に拍手を送るよう呼びかけ。

・著名人の感染者では、元陸軍司令官（79歳）がイランからの帰国後に死亡。俳優、サッカー関係者も罹患。

・欧州最大の感染国イタリア、スペインにマスク等の医療物資支援を実施。

・トルコでは野犬、野良猫を地域コミュニティが守っており、公務員が餌やり等を実施。

・中国から治療薬が届き40都市に配布された→不備なものがあつたという報道あり。

・公共広告や企業広告では「家にいるように(#Evde kalın)」と呼びかけているものが多数みられる。

・トルコが伝統的に使用するコロニヤ（香り付きアルコール液で、消毒に有効）が話題に。

・エルドアン大統領は仏、独、英、米、露、インドネシア、ウクライナ等と電話にて首脳会談を実施、コロナ拡大防止に向けた連携を含む。

・3/30、イスタンブールのオクメイダヌ病院の耐震補強工事が終了し再開、コロナ患者受け入れ、600床。この他に仮設病院設置計画について4/5に発表。

・自助努力の方針を打ち出し3/30より国民に対しBiz Bize Yeterizキャンペーンで寄付を呼びかけ。エルドアン大統領ら閣僚は数か月分の給与を寄付。4/6現在で1,271,661,596。ただし、野党等からは批判もある。

・民間企業は自動車の生産ラインを人工呼吸器、マスク等の生産に充てるなどの措置をとっている。

・4/5、希望者に対して週5枚のマスク配布の実施を発表。4/6、マスクの販売を禁止。

・高齢者に対する買い物代行等を公務員等が実施。